令和6年度
三木市人権に関する市民意識調査報告書
－ 概要版 －

調査の目的

本調査は、平成 30 年度から令和６年度を計画期間とする「三木市人権尊重のまちづくり基本計画（第３次)」の改定にあたり、人権に関する市民の意識や意向、ニーズを調査分析し、次期計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

調査概要

調　査　対　象：18 歳（令和５年 11 月 1 日現在）以上の市民 3,000 人
抽　出　方　法：性別、年齢層及び居住地域に配慮した無作為抽出
調　査　方　法：郵送による配付、郵送もしくはインターネットによる回答を回収
調　査　期　間：令和５年 11 月１日～12 月 15 日
有効回収数(率)：1,048 件（34.9%）

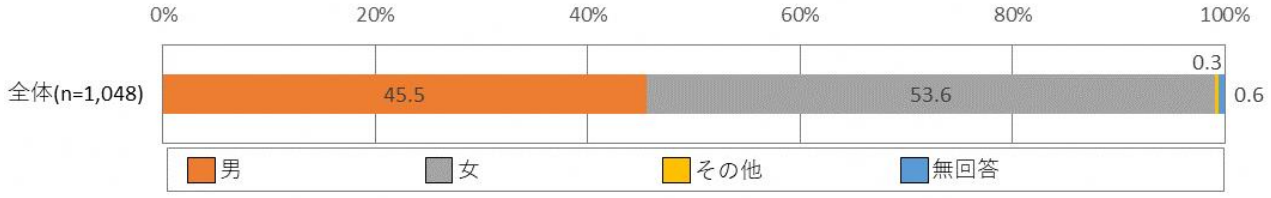
調査内容

・人権などに対する考え方について
・人権侵害について
・過去に経験した事柄について
・個別の「人権」について
・同和問題について
・人権学習・啓発について
・LGBTQ＋について
・市の条例等について

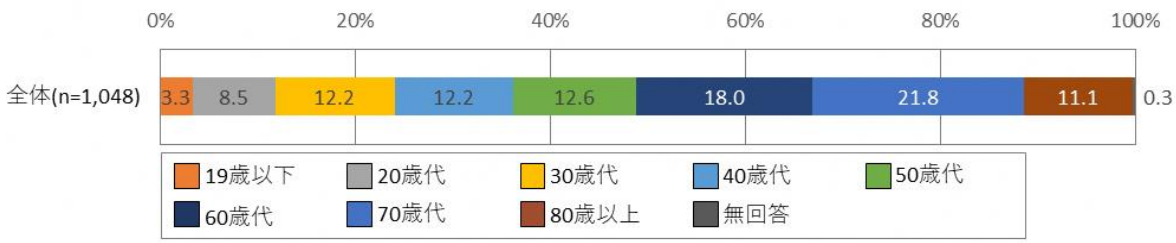
調査結果

１．回答者自身について

全体では、「女」が 53.6%と最も高く、「男」が 45.5%、「その他」が 0.3%と続いている。



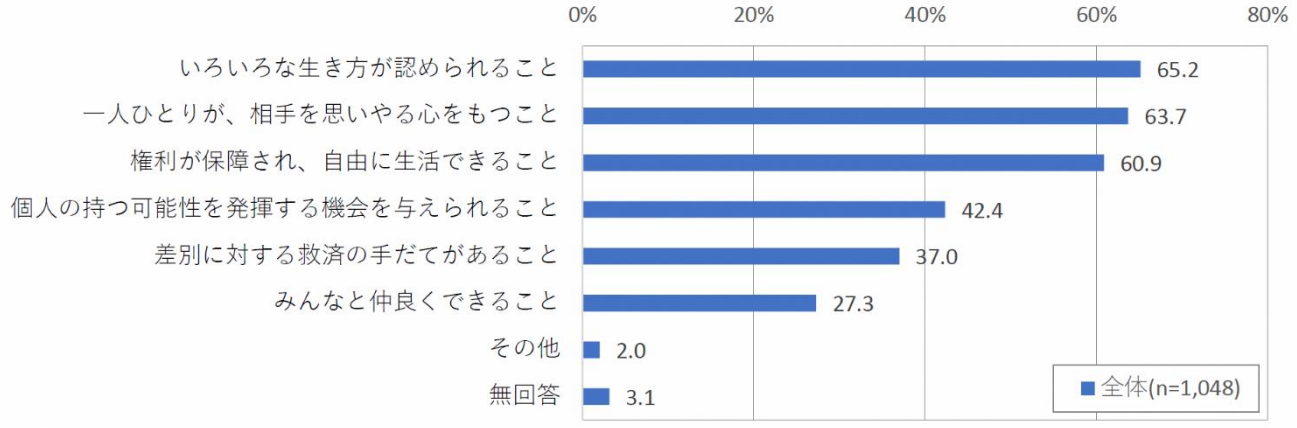
全体では、「70 歳代」が 21.8%と最も高く、「60 歳代」が 18.0%、「50 歳代」が 12.6%と続いている。



２．人権などに対する考え方について

あなたは「人権が尊重される」ということは、どのようなことだと思いますか。

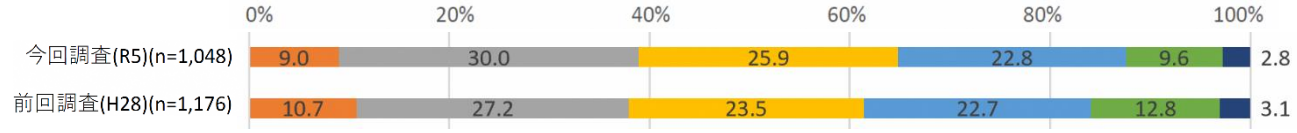
全体では、「いろいろな生き方が認められること」が 65.2%と最も高く、「一人ひとりが、相手を思いやる心をもつこと」が 63.7%、「権利が保障され、自由に生活できること」が 60.9%と続いている。



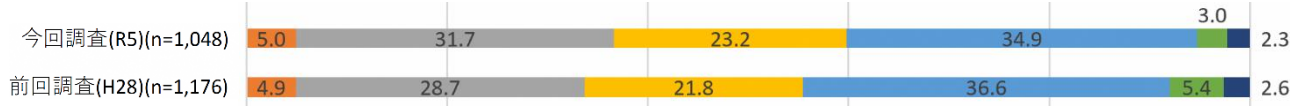
次のような意見について、あなたはどう思いますか？

今回調査では、（１）（２）は、「そう思う」と回答した方（左から２項目の合計）が、前回調査より増加しているものの、（３）（４）では、「そう思う」と回答した方が、前回調査より減少している。

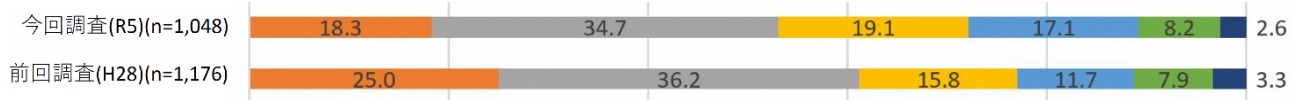
（１）個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきである



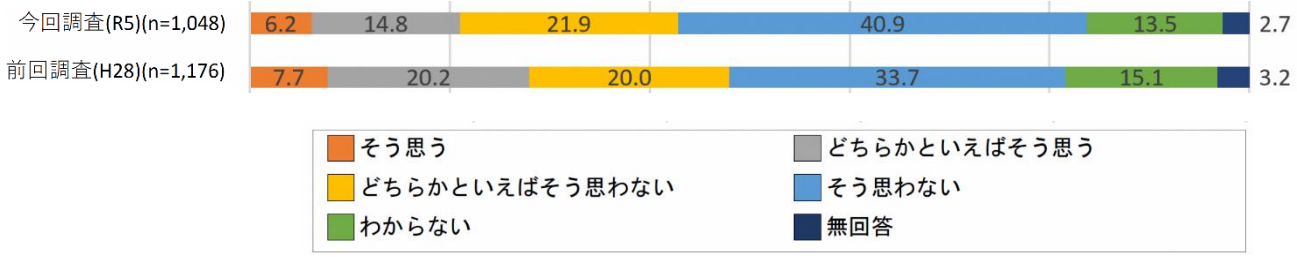
（２）大勢の人の考えにあわせたほうが無難だ



（３）単に合理的だという理由で、地域の伝統や慣習を変えることはよくない



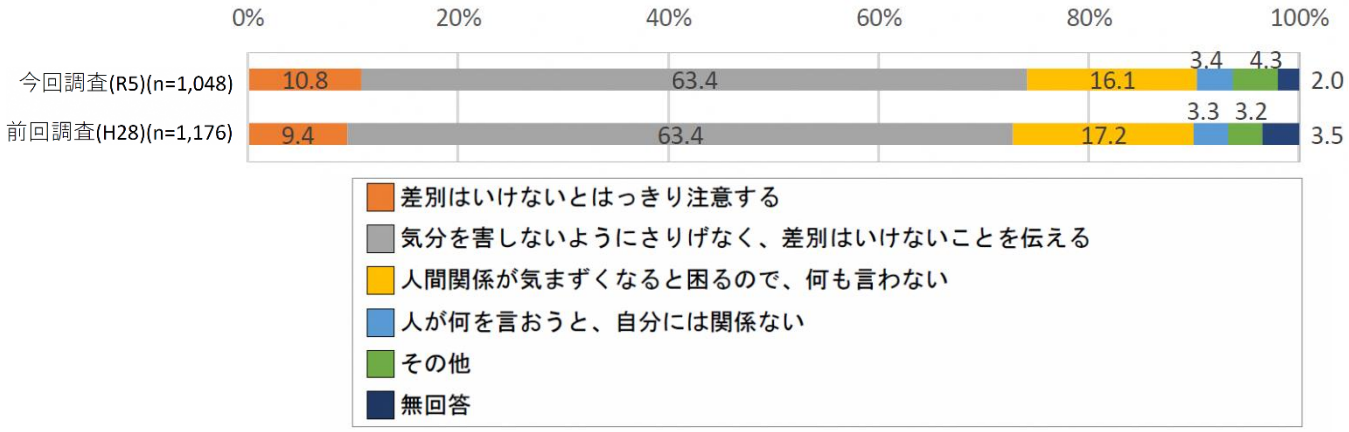
（４）人権問題は、差別を受けている人にも問題がある



３．人権侵害について

あなたは、目の前で、知人が他の人を差別するような言動をとった時、どうしますか。

今回調査では、「差別はいけないとはっきり注意する」「気分を害しないようにさりげなく、差別はいけないことを伝える」と回答した方の合計が、前回調査より 1.4 ポイント増加している。

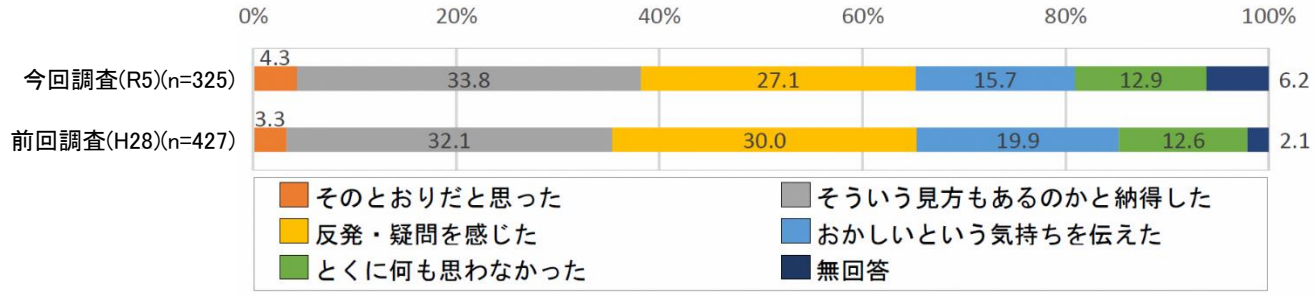


４．過去に経験した事柄について

あなたは、これまでに身近な人から次のような発言を聞いたり、教えられたりしたことがありますか。

対象地域の人とつきあうのはよくない

＜対象地域の人とつきあうのはよくない＞について、『どう感じたか』の回答をみると、今回調査では、「そのとおりだと思った」「そういう見方もあるのかと納得した」と回答した方の合計が、前回調査より 2.7 ポイント増加している。



※今回調査（R5）は、＜対象地域の人とつきあうのはよくない＞について『聞いたり教えられたりした』で「ある」と回答した方のみ抜粋

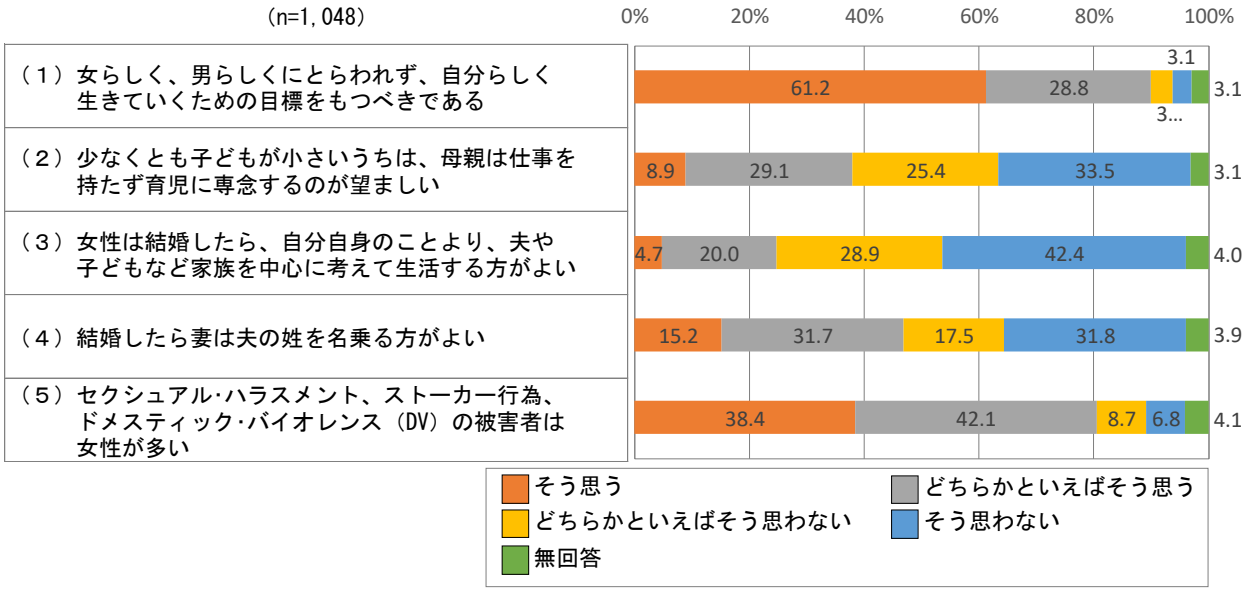
５．個別の「人権」について

（１）女性の人権について

次のような意見について、あなたはどう思いますか。

「そう思う」の割合をみると、＜（１）女らしく、男らしくにとらわれず、自分らしく生きていくための目標をもつべきである＞が 61.2%と最も高くなっている。

また、「そう思わない」の割合みると、＜（３）女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活する方がよい＞が 42.4%と最も高くなっている。

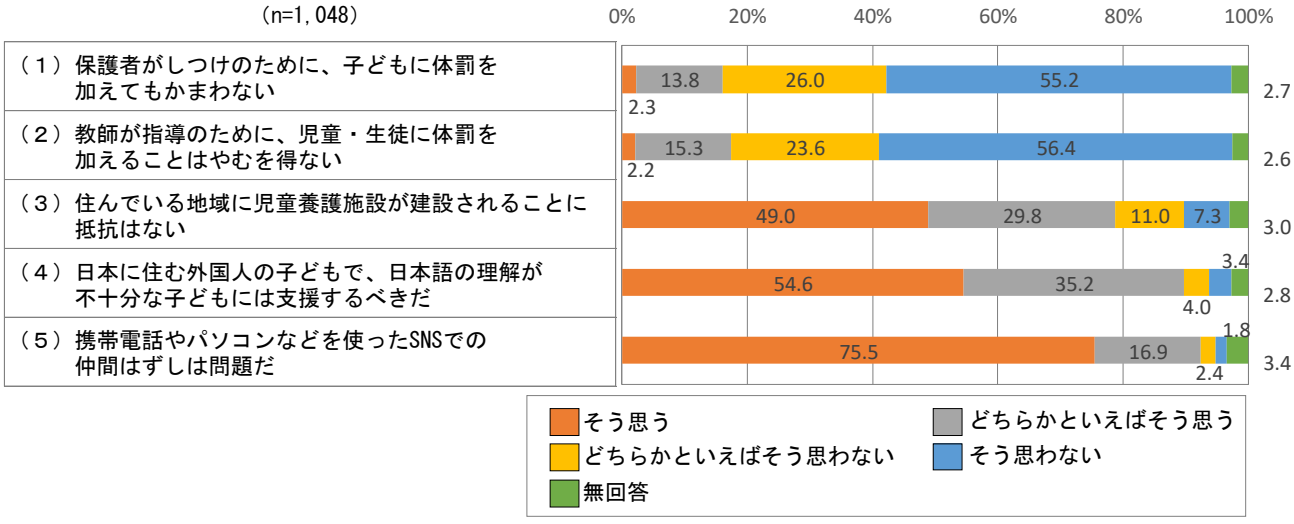


（２）子どもの人権について

次のような意見について、あなたはどう思いますか。

「そう思う」の割合をみると、＜（５）携帯電話やパソコンなどを使った SNS での仲間はずしは問題だ＞が 75.5%と最も高くなっている。

また、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』では、＜（１）保護者がしつけのために、子どもに体罰を加えてもかまわない＞と＜（２）教師が指導のために、児童・生徒に体罰を加えることはやむを得ない＞の割合が８割を超えている。

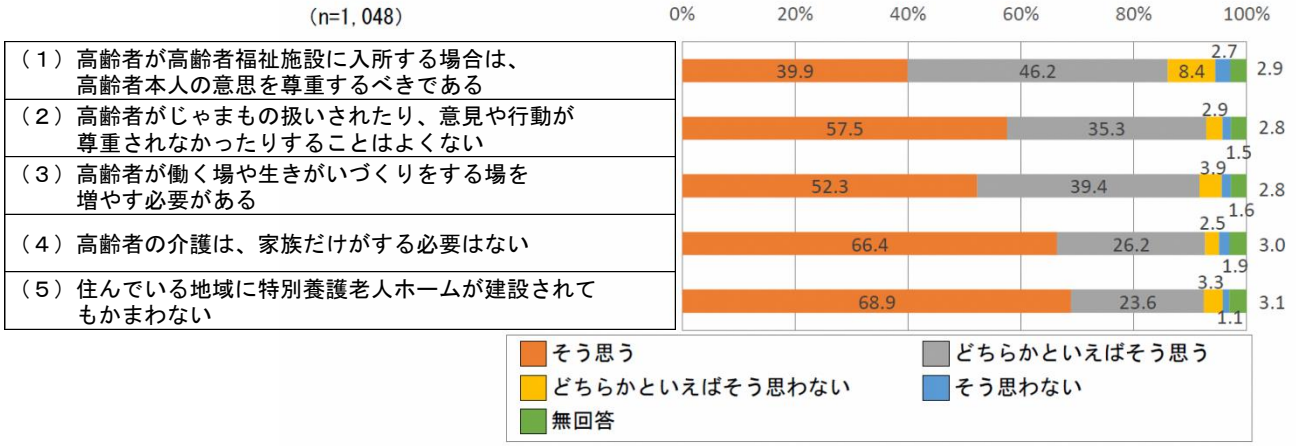


（３）高齢者の人権について

次のような意見について、あなたはどう思いますか。

「そう思う」の割合をみると、＜（５）住んでいる地域に特別養護老人ホームが建設されてもかまわない＞が 68.9％と最も高くなっている。

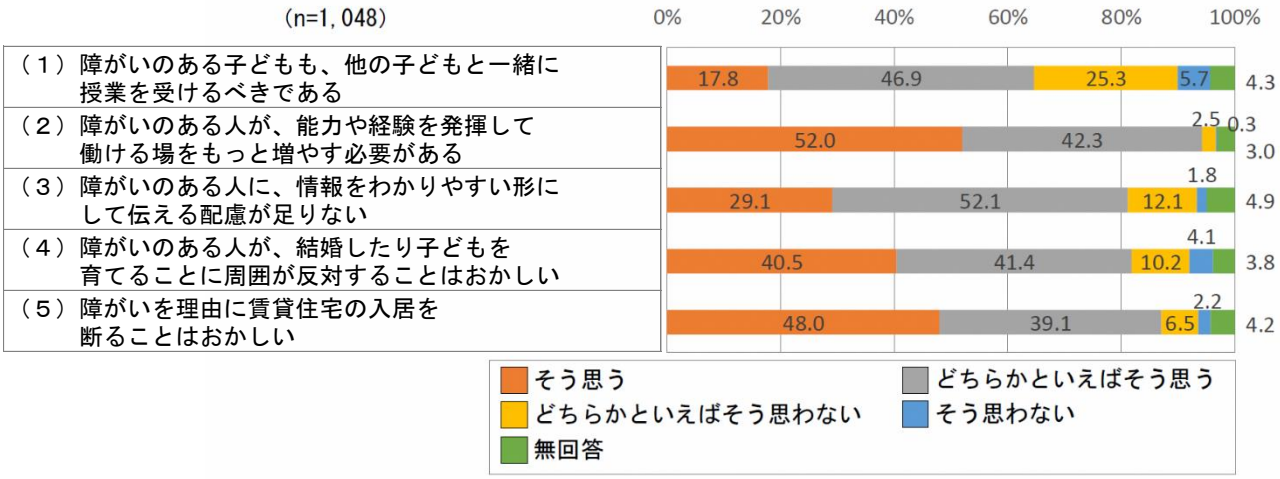
また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』では、すべての項目で８割を超えている。



（４）障がいのある人の人権について

次のような意見について、あなたはどう思いますか。

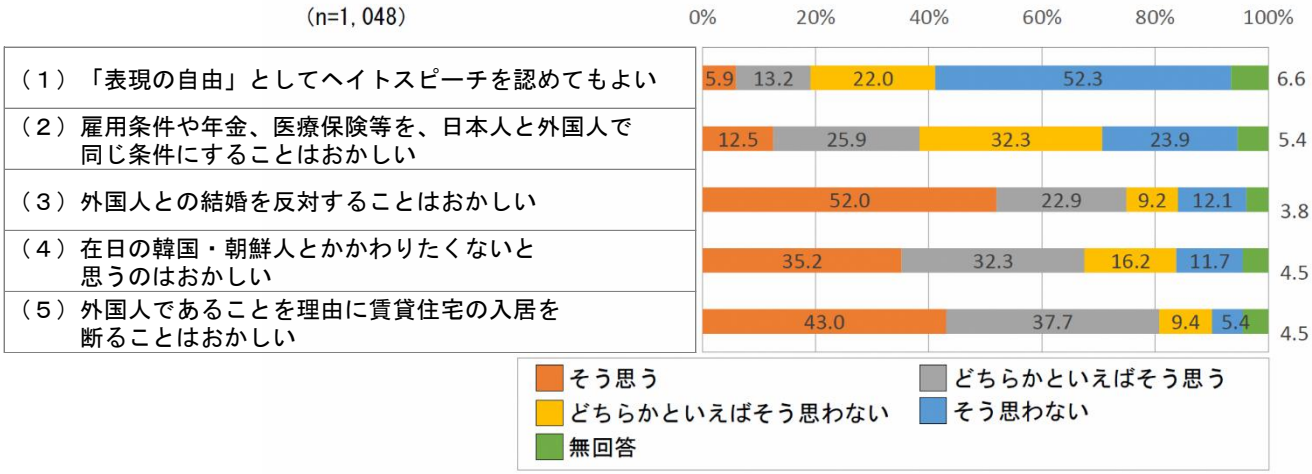
「そう思う」の割合をみると、＜（２）障がいのある人が、能力や経験を発揮して働ける場をもっと増やす必要がある＞が 52.0％と最も高くなっている。



（５）外国人の人権について

次のような意見について、あなたはどう思いますか。

「そう思う」の割合をみると、＜（３）外国人との結婚を反対することはおかしい＞が 52.0%と最も高くなっている。

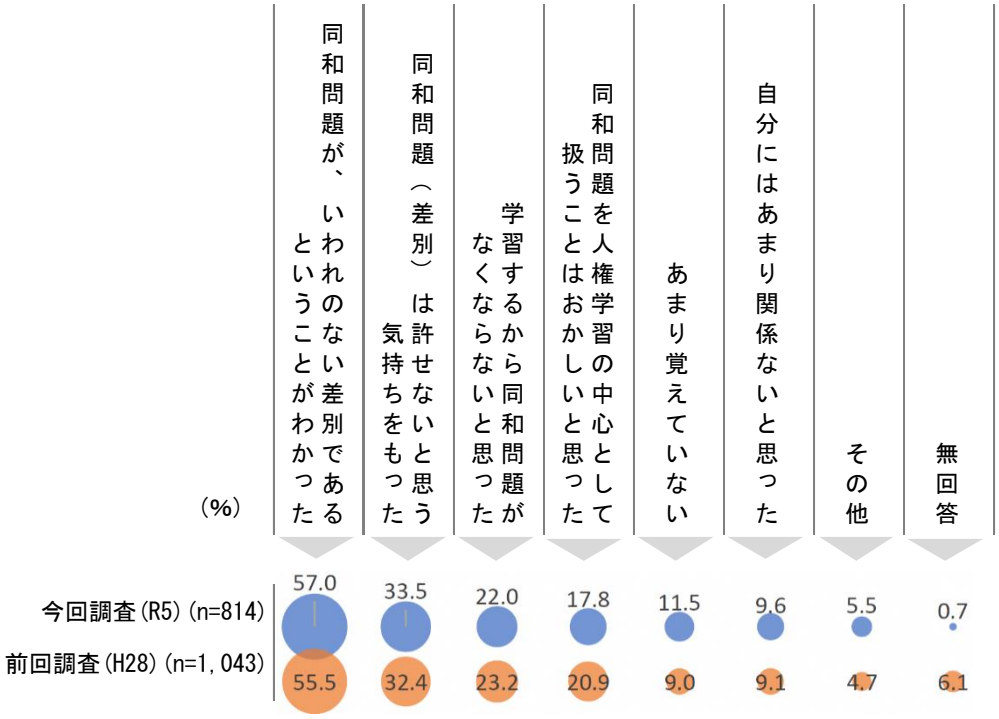


（６）同和問題について

同和問題の学習について、あなたは、どのような感想をもちましたか（もっていますか）。
（いくつでも）
※同和問題について「学習したことがある」と回答した方に質問

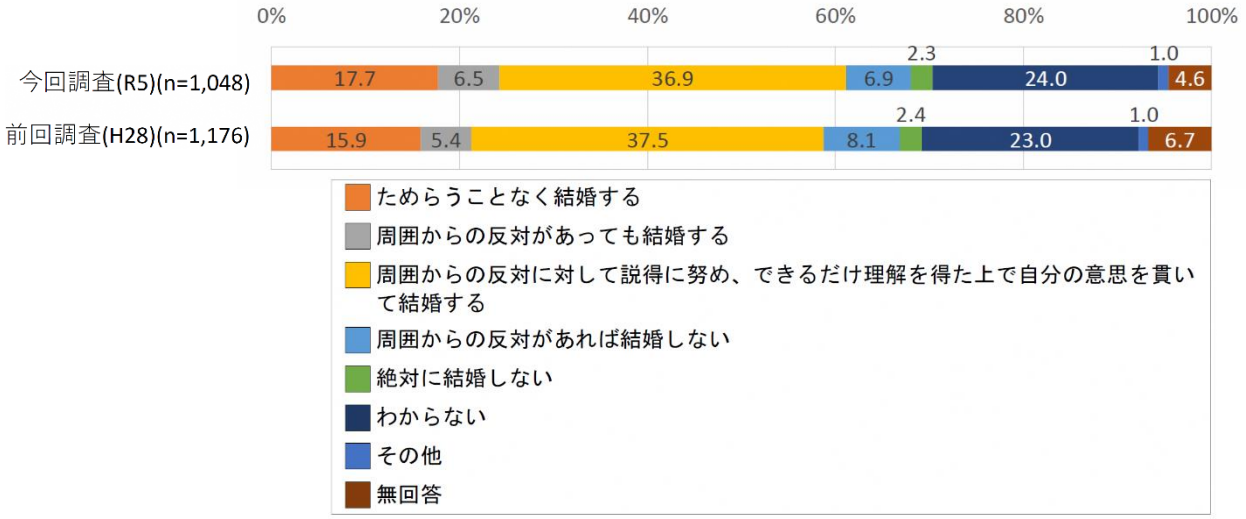
今回調査では、「同和問題が、いわれのない差別であるということがわかった」「同和問題（差別）は許せないと思う気持ちをもった」と回答した方の合計が、前回調査より 2.6 ポイント増加している。

また、「学習するから同和問題がなくならないと思った」と回答した方は、前回調査より 1.2 ポイント減少、「自分にはあまり関係ないと思った」と回答した方は、前回調査より 0.5 ポイント増加している。



たとえば、あなたが結婚しようとする相手が対象地域の人だとわかった場合、あなたはどうされますか。（既婚の場合は、未婚と仮定してお答えください。）

今回調査では、「結婚する」と回答した方（左から３項目の合計）が、前回調査より 2.3 ポイント増加している。

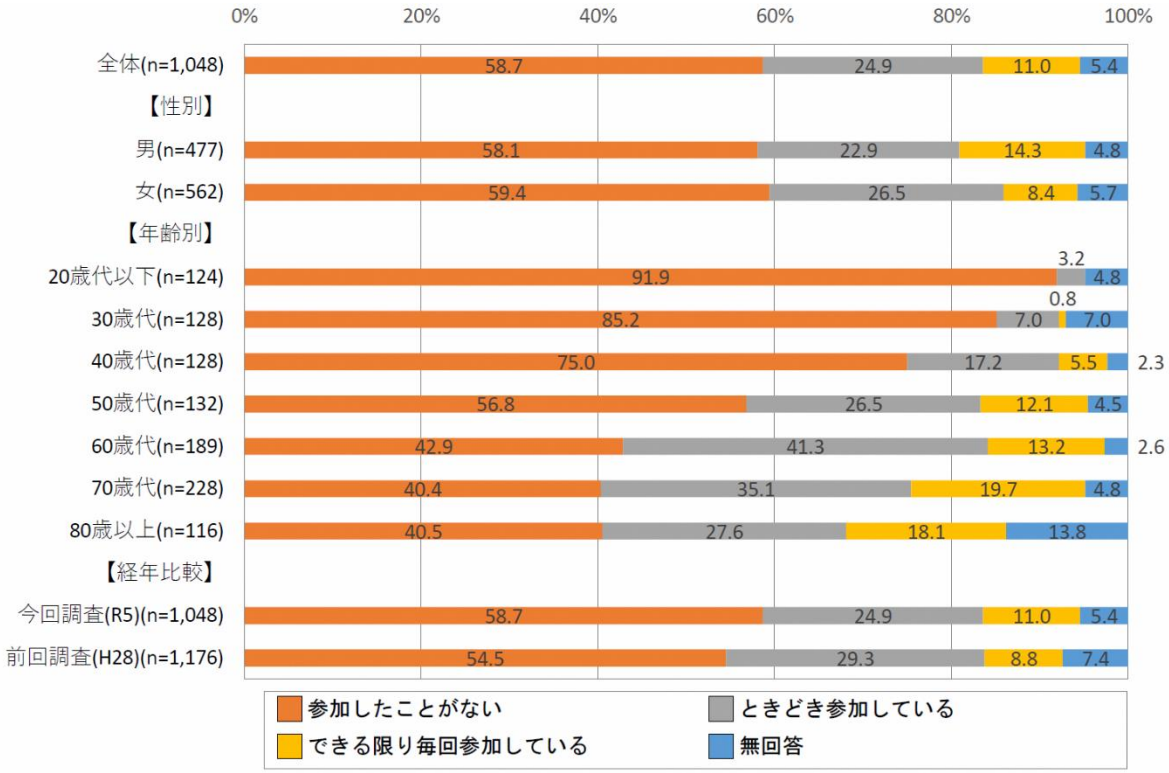


６．人権学習・啓発について

あなたは、住民学習会に参加されたことはありますか。

全体では、「参加したことがない」が 58.7%と最も高く、「ときどき参加している」が 24.9%、「できる限り毎回参加している」が 11.0%と続いている。

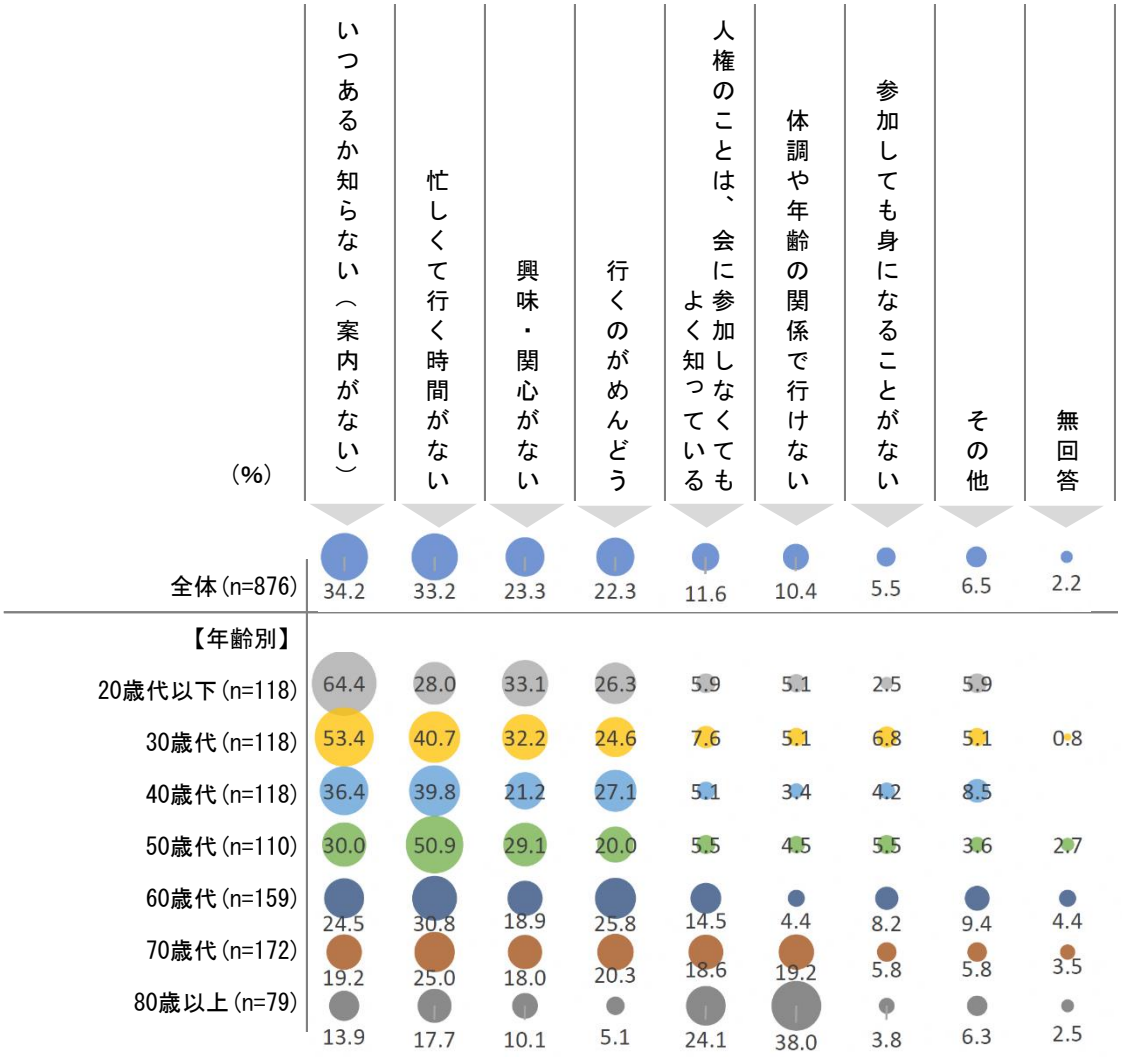
年齢別では、年齢が下がるほど「参加したことがない」の割合が高くなる傾向にある。



あなたが、住民学習会に参加しなかった理由はなんですか。（いくつでも）

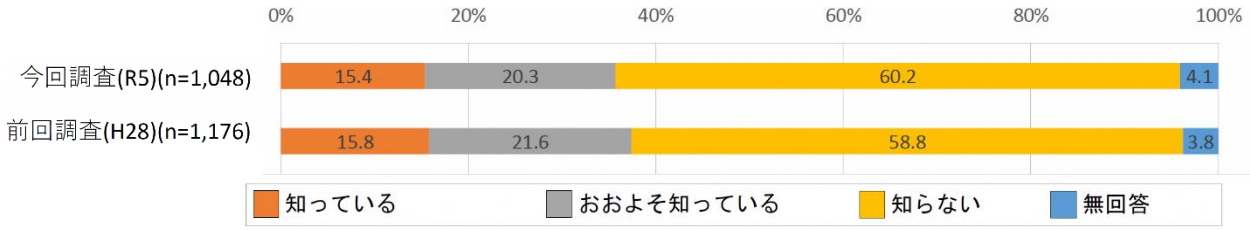
全体では、「いつあるか知らない（案内がない）」が 34.2%と最も高く、「忙しくて行く時間がない」が 33.2%、「興味・関心がない」が 23.3%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「いつあるか知らない（案内がない）」の割合が高くなる傾向にある。



7．市の条例等について

あなたは、次の条例等について知っていますか。

今回調査では、「知っている」と回答した方（左から２項目の合計）が、前回調査より 1.7 ポイント減少している。

三木市人権尊重のまちづくり条例（平成 13 年１月１日施行）